

① 設計・施工等の概要

項目	概要
年度	令和4年度
発注機関	広島県西部建設事務所
事業名	一級河川 太田川水系 榎川支流19隣 砂防激甚災害対策特別緊急工事
対象地	安芸郡府中町瀬戸ハイム三丁目
工期	令和4年5月16日～令和5年3月31日
数量	

③ 活用効果（本事例における定量的・定性的な効果）

定量的な効果

◆コスト 従来工法（法枠+補強土）に比較し、建設時点で43%コスト縮減できた。100年間のライフサイクルコストでは、約63%コスト縮減できる。施工した5900㎡では、約100年間で従来工法に比較し、約2億1千万円コスト縮減できる。

定性的な効果

◆施工は樹木が生えた斜面であるが、雑木を伐採した結果短期間で施工できた。
◆前面に敷設した金網の下に浸食防止マットを敷いた結果、施工中に降雨があっても溪流の水が澄んだ状態に変化した。

② 活用に至った現場条件や経緯

◆現場条件

土石流対策が必要な溪流で、砂防ダムを建設することが困難であったので、土石流の発生原因となる溪流の斜面崩壊を本工法で抑止することとした。

◆工法選定理由

- ①樹木を残した施工が出来る。
- ②長寿命工法（100年以上）である。
- ③従来工法より建設時点でも低コストであり、ライフサイクルコストではさらに低コストとなる。

◆経緯

予備設計段階では、「パネル+補強土」が選定されていたが、初期建設コストを25%縮減できる点と、使用する部材が下記のように長寿命を期待できるので、長寿命補強土植生型に変更になった。

長寿命補強土植生型の部材

- ・補強材 エポキシ樹脂塗装鉄筋
- ・金網 IR被覆鉄線金網（塩水噴霧試験10000時間変化なし）
- ・キャップ メッキの上にPVB樹脂を焼き付けた製品
- ・網固定部材 ガラス繊維コンクリートで劣化しにくい

④ 活用状況写真



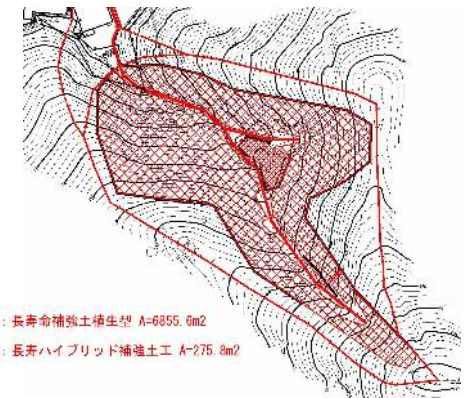
削孔と補強材挿入



金網敷設中 1名の人力で敷設可能



金網敷設後 樹木を残した施工後の状況



XXXX : 長寿命補強土植生型 A-6855.6m²
XXXX : 長寿ハイブリッド補強土 A-275.8m²

平面図 ハッチ部分に施工